

2023年度

家庭学習の手引き

新冠小学校

保護者用



自ら学ぶ子をめざして～家庭学習で育てたい力～

- ①自分から進んで学習に取り組める力を身に付ける。
- ②自分から継続して学習に取り組む力を身に付ける。
- ③自分から学習課題を見つける力を身に付ける。
- ④学習内容の理解や定着のために必要な力を身に付ける。

(読む力・書く力・計算する力)

学習習慣の土台は、生活習慣です！

1) 学習環境を支える「生活のリズムづくり」が大切です。

- ・一日の生活リズムをつくってあげましょう。
「早寝・早起き・朝ごはん」に「+家庭学習」を！
- ・勉強する場所や勉強を始める時刻を決めましょう。
- ・勉強に集中できる環境、雰囲気をつくりましょう。
(テレビを消すなど)



温かい声掛けで
お子様に自信を！

2) 学習習慣が身に付くまでは、お家の方の協力が大切です。

- ・低学年は、お子様の隣に座り、一緒に学習を進めます。
間違いがあれば、自分で気付けるよう声を掛け、一緒にやり直すようにしてください。
- ・中学年は、学習した内容に目を通し、「よく頑張ったね！」と褒めてあげてください。
- ・高学年は、学習が自分からできるように励まし、できたときは褒めてあげてください。

規則正しい
リズムが大切！

家庭学習内容

- 【自主学習】子どもが自らの興味・関心、課題に応じて取り組む。
- 【宿題】学校での学習指導上の必要性から教師が取り組ませる。
- 【読書】じっくり落ち着いて本を読む。

学習時間の目安は

学年×10分

各学年の

「これだけは身に付けさせたい学力」とは？



習慣づけの1年生

- ①鉛筆を正しく持って字を書ける。
- ②ひらがな、カタカナを読み書きできる。
- ③助詞「は、を、へ」を適切に使い分けて文章を書ける。

- ④80字の配当漢字の全てを読み、8割の漢字が書ける。
- ⑤くり上がり、くり下がりの足し算や引き算ができる。



定着させよう2年生

- ①160字の配当漢字全部の読み書きができる。
- ②順序よく話すことができる。
- ③主語、述語を使って文が書ける。

- ④九九がすらすら言える。
- ⑤長さの単位 (mm, cm, m) とかさの単位 (mL, dL, L) が分かる。
- ⑥3桁までの足し算、引き算ができる。



やる気を引き出す3年生

- ①200字の配当漢字の全てを読み、8割の漢字が書ける。
- ②主述関係、修飾語が分かり、作文できる。
- ③観察文（描写、説明）を書ける。
- ⑧日常使われている簡単な単語についてローマ字で読み書きができる。

- ④掛け算九九を用いて、割り算できる。
- ⑤分数や小数の意味が分かる。
- ⑥分母が同じ分数の足し算、引き算ができる。
- ⑦コンパスを使って、円などの図形が描ける。



自信をもたせる4年生

- ①203字の配当漢字の全てを読み、8割の漢字が書ける。
- ②順序を表す言葉や指示語、接続語を適切に使って文章が書ける。
- ③国語辞典や漢和辞典を使える。
- ④日常使われている簡単な単語や地名・人名についてローマ字で読み書きできる。

- ⑤垂直や平行な線が引ける。
- ⑥分度器を使える。
- ⑦整数、小数の掛け算・割り算ができる。
特に筆算が確実にできる。
- ⑧47都道府県名を漢字で書くことができ、位置が分かる。



苦手なところも進んで取り組む5年生

- ①192字の配当漢字の全てを読み、既習漢字（835字）の8割が書ける。
- ②相手や場面に応じて、敬語を使うことができる。
- ③小数の掛け算・割り算が正確にできる。

- ④いろいろな三角形や四角形、円の面積を求めることができる。
- ⑤割合、百分率、速さを使った問題が解ける。
- ⑥公倍数や公約数を使った問題が解ける。
- ⑦パソコンでローマ字入力ができる。



中学校につなげる6年生

- ①191字の配当漢字の全てを読み、8割の漢字が書ける。
- ②小学校で習う漢字（1026字）の8割を正しく書ける。
- ③整数、小数、分数の四則計算ができる。
- ④歴史上の人物と出来事に興味をもつ。

- ⑤理科の実験道具の正しい扱い方が分かる。
- ⑥新聞やニュースに関心をもつことができる。
- ⑦読書を通して考えを広げたり、深めたりすることができる。
また、長い文章を読める集中力を身に付ける。

